

町内会活動支援事業補助金交付申請書

令和〇年〇月〇日

(あて先) 区 長

住 所 福岡市〇〇区〇〇1丁目2番3号

団体名 〇〇1丁目町内会

代表者職・氏名 フリガナ 会長 福岡 フクオカ 花子 ハナコ

生年月日 昭和〇〇年〇月〇日

令和〇年度町内会活動支援事業補助金の交付を受けたいので、福岡市補助金交付規則を承知の上、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

1 事業名 防災訓練

2 補助金の申請額 100,000円

3 関係書類

- (1) 事業計画書
- (2) 事業収支計画書
- (3) 申請団体の規約
- (4) 申請団体の役員名簿
- (5) 補助金申請の前年度の申請団体の決算書

申請者は、本件申請にあたり市に提出した個人情報について、市がこの補助金からの暴力団排除のため福岡県警察への照会確認に使用することに同意します。

また、申請人が暴力団員又は暴力団若しくは暴力団員と密接な関係を有する者に該当したときは、市がこの補助金を交付しないこと、又は、補助金の交付の決定を取り消すことについて同意します。

事業計画書

団体名		〇〇区 〇〇校区・地区 〇〇1丁目町内会
町内会活動支援事業補助金の補助対象となる事業	事業の名称	防災訓練
	対象事業 ※該当する事業に チェックを入れて ください。	☐ ①活動や運営に係る情報発信に関する事業 (☐ ①-1 地域活動に関心の低い住民が活動に関心を持つよう、内容や手法に工夫を凝らしたもの) ☒ ②地域防災力の向上に資する事業 (☒ ②-1 これまでに実施したことのない、新たな取組みが含まれているもの) ☐ ③安全・安心な地域づくりに資する事業 ☐ ④未加入者への加入促進に資する事業 ☐ ⑤住民同士の交流促進に資する事業 ☐ ⑥その他地域の活性化や課題解決につながる事業
	事業の周知方法	☒ 事業実施にかかるチラシ ☐ 自治会・町内会の広報紙(自治会だより など) ☐ ホームページや SNS ☐ 年間事業計画書 ☐ その他()
	事業の内容	(①-1に該当する場合は、地域活動に関心の低い住民にも関心を持ってもらえる内容や手法の工夫、②-1に該当する場合は、これまでにない新たな取組みについても記載してください。) ☒ 警固断層南東部を震源とする、震度6強の地震が発生したと想定し、指定避難所である〇〇小学校への避難訓練を実施。 ☒ 避難所までの避難の流れを確認する。 ・前日までに、各自で持ち出し袋を確認しておく。 ・地震発生直後、テーブルの下に隠れるなど、身を守る行動を取る。 ・ <u>自宅から避難する際、玄関の外側に、「安否確認シート」を貼る。</u> ・ <u>個別避難計画に基づき、避難行動要支援者の安否確認を行う。</u> ・組ごとに決めている、公園等の集合場所に集まり、点呼を取る。 ・組ごとに、〇〇小学校体育館に避難、各自受付。 ・受付終了した住民から、備蓄品を受け取り、解散する。 ☒ 役員及び運営スタッフで、来年の防災訓練に向けて、事業の振り返りをする。 ※下線部が新たな取組み
	事業の実施期間	令和〇年〇月〇日 (〇)
	参加見込み人数 ※②③⑤⑥	約100人
	対象見込み人数 ※④	人
担当者・連絡先	フリガナ 氏 名	ハカタ タロウ 博多 太郎
	電話番号	092-〇〇〇-〇〇〇〇

事業収支計画書

事業名 **防災訓練**
 団体名 **〇〇1丁目町内会**

1 収入の部

(単位：円)

区分	予算額	備考
補助金(交付申請額)	100.000	
自主財源	55.000	町内会会計から
その他の収入		
総 額	155.000	

2 支出の部

(単位：円)

区分	内訳	予算額	備考
補助対象経費	チラシ作成	2.000	200枚×10円
	マグネット式 安否確認シート作成	80.000	200枚×2種類×200円
	備蓄品購入	60.000	100本×100円(保存水)+100 個×500円(レトルト食料)
	スタッフ謝礼	10.000	1,000円×10人
	企画会議用茶菓代	6.000	200円×10人×3回
	小計	152.000	
補助対象外経費	企画会議用茶菓代	3.000	100円×10人×3回 ※補助上限の200円/人を超える部分
	小計	3.000	
総 額		155.000	

町内会活動支援事業実績報告書

令和〇年〇月〇日

(あて先) 区 長

住 所 福岡市〇〇区〇〇1丁目2番3号

団体名 〇〇1丁目町内会

代表者職・氏名 ^{フリガナ}会長 ^{フクオカ}福岡 ^{ハナコ}花子

令和〇年〇月〇日付第〇号により補助金の交付決定を受けました事業の実績について、下記のとおり報告します。

記

- 1 事業名 防災訓練
- 2 事業の実施期間 令和〇年〇月〇日(〇)
- 3 事業の実施状況
 - (1) 事業実施状況報告書及び成果を証する書類等
 - (2) 事業収支計算書
- 4 補助金の交付決定額と精算額
 - (1) 補助金の交付決定額 100,000円
 - (2) 補助金の精算額 100,000円

事業実施状況報告書

団体名	○○区 ○○校区・地区 ○○1丁目町内会	
町内会活動支援事業補助金の補助対象となる事業	事業の名称	防災訓練
	対象事業 ※該当する事業にチェックを入れてください。	☐ ①活動や運営に係る情報発信に関する事業 (☐ ①-1 地域活動に関心の低い住民が活動に関心を持つよう、内容や手法に工夫を凝らしたもの) ☒ ②地域防災力の向上に資する事業 (☒ ②-1 これまでに実施したことのない、新たな取組みが含まれているもの) ☐ ③安全・安心な地域づくりに資する事業 ☐ ④未加入者への加入促進に資する事業 ☐ ⑤住民同士の交流促進に資する事業 ☐ ⑥その他地域の活性化や課題解決につながる事業
	事業の周知方法	☒ 事業実施にかかるチラシ ☐ 自治会・町内会の広報紙(自治会だより など) ☐ ホームページや SNS ☐ 年間事業計画書 ☐ その他()
	事業の内容	(①-1に該当する場合は、地域活動に関心のない住民にも関心を持ってもらえる内容や手法の工夫、②-1に該当する場合は、これまでにない新たな取組みについても記載してください。) ○警固断層南東部を震源とする、震度6強の地震が発生したと想定し、指定避難所である○○小学校への避難訓練を実施した。 ○避難所までの避難の流れを確認した。 ・新たな取組みとして、訓練開始前に、マグネットで作成した「安否確認シート」を全戸配布し、訓練参加時に、玄関の外側に貼ってもらった。参加者からは「安否確認が効率よくできる」と好評であった。 ・避難行動要支援者の安否確認は、民生委員・児童委員の協力を得て、事前に周知していたこともあって、10名中8名と顔を合わせての安否確認ができた。 ・小学校体育館入口に組ごとに受付を作っていたが、スムーズにさばけなかったのが、次回の課題として残った。 ・参加者の防災意識向上のため、備蓄品を配布した。 ○役員及び運営スタッフで、来年の防災訓練に向けて、事業の振り返りをした。避難所での受付のスムーズ化のほか、避難行動要支援者の安否確認だけでなく、避難所までの避難支援にも取り組んでみようということになった。
	事業の実施期間	令和○年○月○日 (○)
	参加人数 ※②③⑤⑥	120人
	対象人数 ※④	人
担当者連絡先	フリガナ氏名	(事業計画書から変更がない場合は、記載不要)
	電話番号	

※事業実施を証する書類として、広報チラシや写真等を添付すること。

※町内広報紙やSNS、HP等で事業の実施報告をしている場合は、広報紙の添付や該当URLの記載をもって、本報告書の一部記載省略が可能です。

事業収支計算書

事業名 **防災訓練**
団体名 **〇〇1丁目町内会**

1 収入の部

(単位：円)

区分	決算額	備考
補助金	100.000	
自主財源	36.000	町内会会計から
その他の収入		
総 額	136.000	

2 支出の部

(単位：円)

区分	内 訳	決算額	備考
補助対象経費	チラシ作成	2.000	200枚×10円
	マグネット式 安否確認シート作成	40.000	200枚×1種類×200円
	備蓄品購入	72.000	120本×100円(保存水) + 120 個×500円(レトルト食料)
	スタッフ謝礼	10.000	1,000円×10人
	企画会議用茶菓代	8.000	200円×10人×4回
	小計	132.000	
補助対象外経費	企画会議用茶菓代	4.000	100円×10人×4回 ※補助上限の200円/人を超える部分
	小計	4.000	
総 額		136.000	